



2025 年 11 月 14 日

各 位

株 式 会 社 F R O N T E O
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号 : 2158 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 財 務 統 括 部 長 國 枝 宏 美
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

連結業績予想の修正（上方修正）のお知らせ

当社は、第2四半期までの業績進捗を踏まえ、2025年5月15日に公表した2026年3月期通期連結業績予想を下記の通り上方修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,000	百万円 700	百万円 715	百万円 615	円 銭 15.63
今回修正予想（B）	7,700	700	715	615	15.64
増減額(B-A)	700	0	0	0	—
増減率（%）	10.0	0.0	0.0	0.0	—
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	6,099	527	543	555	14.10

（修正の理由）

ライフサイエンス AI 事業（AI 創薬分野）においては、共創プロジェクトの受注数が当期の KPI（10 案件）を超過し、すでに 14 案件の契約を獲得するなど、期初業績予想を上回る受注ペースであることに加え、足元では、アカデミアや創薬ベンチャー企業を加えたエコシステムの構築も進展しており、非連続的成長のための戦略も着実に進行しております。

また、DX 事業においても、2025 年 4 月に完全子会社化したアルネッツの売上高が堅調に推移し、期初の業績予想を上回る見込みです。当社のビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野との一体運営を通じて、高付加価値な統合型 DX ソリューションの提供を加速させる戦略を推進しております。当期は、将来の DX 事業における顧客基盤の強化及び販路拡大に注力した結果、

その効果が表れ始めています。

一方、リスクマネジメント事業においては、新規案件獲得の減少などから、計画値を下回る見通しですが、金融領域を中心とした AI 監査の高度化及び監査対象範囲の拡大に加え、社会的重要度の高い情報漏洩、人権問題、品質不正等の、需要の取り込みを通じた収益拡大に努めております。

以上の結果、好調に推移しているライフサイエンス AI 事業、DX 事業が業績を牽引し、連結全体の売上高は期初業績予想を上回る見込みです。営業利益については、ライフサイエンス AI 事業と DX 事業の売上高の増加、及び上期のリーガルテック AI 分野の米国撤退費用、M&A 関連費用、ライフサイエンス AI 事業の先行投資等の一時費用の反動増により、期初計画どおり下期にかけて利益拡大が見込まれるものの、リスクマネジメント事業の売上減少による影響と相殺されることから、営業利益は期初予想を据え置いております。

(※) 上記の業績予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上